

CASBEE神戸 ver.2 布引町TAKAI BLD新築工事		■使用評価マニュアル: CASBEE神戸 ver.2 ■評価ソフト: CASBEE神戸 ver.2 / CASBEE-BD_1				
スコアシート 実施設計段階		欄に数値またはコメントを記入				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-	<b>2.7</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.9</b>	0.15	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.7</b>
1.1 騒音	室内騒音レベル=40dB	5.0	0.48	4.0	0.50	
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.48	<b>3.3</b>	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	0.97	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	遮音性能の高い界壁としている。	5.0	0.03	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.04	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.4</b>	0.35	<b>2.4</b>	1.00	<b>2.4</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室温		3.0	0.59	3.0	0.63	
2 外皮性能		3.0	0.35	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.06	-	-	
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.1</b>	0.25	<b>2.7</b>	1.00	<b>2.4</b>
3.1 昼光利用		<b>1.9</b>	0.32	<b>2.0</b>	0.30	
1 昼光率		1.0	0.54	1.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.46	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		<b>1.0</b>	0.27	<b>3.0</b>	0.30	
1 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.13	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.28	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>2.7</b>	1.00	<b>2.8</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.58	<b>3.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		<b>2.9</b>	0.38	<b>2.3</b>	0.38	
1 換気量		3.0	0.49	3.0	0.33	
2 自然換気性能		1.0	0.02	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.49	3.0	0.33	
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.04	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	非住宅部分は全館禁煙としている。	5.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>2.9</b>	0.40	<b>2.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	0.03	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.03	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	0.95	-	-	
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観	非住宅部分天井高=2.7m以上、住宅部分天井高=2.7m以上	4.0	0.06	5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.06	-	-	
3 内装計画		3.0	0.88	3.0	0.50	
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.3</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床(20年)壁:ビニルクロス(20年)、天井:ビニルクロス(30)	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:VP(B)、給湯管:SUP(D)、汚水管:VP(B)、Eは不使用。	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.4	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			3.0	0.06	3.8	0.50	
1	階高のゆとり	住居部分階高=3.1m以上	3.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.06	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.89	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.3
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.632	3.3	0.20	-	-	3.3
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.70 住宅(専有部) 1.10	3.3	0.50	-	-	3.3
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI=0.70	5.0	0.19	-	-	
	集合住宅の評価(3c)	一次エネルギー消費率=1.08	3.0	0.81	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	0.19	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	0.81	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=85%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	